

みんなで広げる
防災の輪

緊急地震速報について

去る6月4日、午前4時34分頃、釧路地方中南部を震源とするマグニチュード5・0の地震が発生し、釧路市阿寒町では震度5弱を観測しました。当町では、揺れを観測しなかったものの、「緊急地震速報」が発表され、防災行政無線により、屋外拡声機や戸別受信機で、その情報が放送されました。「揺れていないのに、なぜ緊急地震速報が放送されたのだろうか」と疑問を抱いた人も多いかと思えます。

緊急地震速報には、大きく分けて『警報』と『予報』の2種類があり、警報の一例を示すと次のとおりです。

●発表条件／地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱以上と予想された場合

●発表内容／地震の発生時刻、発生場所(震源)の推定値、地震発生場所の震央地名、強い揺れ(震度5弱以上)が予想される地域および震度4が予想される地域

名

●予報区域
(※厚岸町
該当区域の
み抜峠)／釧路地方中南部(釧路市、
釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町の
一部、鶴居村、白糠町)



このように、緊急地震速報は各市町村単位ではなく、予報区域ごとに発表されます。今回の地震では、釧路市阿寒町のみ震度5弱を観測しましたが、実際に揺れを観測しなかった町村でも、緊急地震速報が発表されました。

緊急地震速報は、地震発生後、強く揺れる前に揺れが来ることを伝達するための情報ですが、速報が発表されてから対象となる地域が強く揺れるまでは、数秒から数十秒と、わずかな時間しかありません。

このため、強い揺れに見舞われると、家具の落下や転倒、ガラスの破損などが想定されます。緊急地震速報を見聞きしたときには、その場所や状況に合わせて慌てずに行動し、日頃から室内の安全な場所を把握しておくなど、地震への備えを心がけましょう。

●問い合わせ／危機対策係 ☎内線 223

**熱中症は
症状が現れてからでは遅い**

熱中症とは、気温や室温が高い中で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、身体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識障害など、さまざまな障害をおこす症状のことです。家の中でじっとしていても身体から熱が逃げにくく、熱中症になる場合がありますので注意が必要です。

『熱中症予防の**ポイント**』

- ①のどが渇く前に水分補給！
- ②室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機を活用！
- ③運動する場合は、無理をせず適度に休憩を！
- ④子どもは体温調節機能が未熟で熱中症にかかりやすいので、十分に観察を！
- ⑤高齢者は体温を下げるための身体の反応が弱くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険あり！



熱中症にかかったら…



【問い合わせ】

厚岸消防署 予防広報係
厚岸町松葉4丁目1番地
☎52-5111

平成27年各種出動件数

【平成27年6月30日現在】

・火災発生件数	1件
・救急出動	175件
・救助出動	3件
・ドクターヘリ出動	5件

